

新規事業採択時評価結果（平成15年度新規事業化箇所）

担当課：

担当課長名：

事業名	近畿自動車道 紀勢線 白浜～すさみ		事業区分	高速自動車国道	事業主体	
起終点	自：和歌山県西牟婁郡白浜町 至：和歌山県西牟婁郡すさみ町			延長	2.4 km	
事業概要	<p>近畿自動車道松原那智勝浦線は、大阪府松原市を起点として、和歌山県の県都である和歌山市、和歌山県第二の都市である田辺市を經由して、那智勝浦町に至る延長約206kmの高速自動車国道である。本路線は、近畿自動車道尾鷲勢和線と一体になり紀伊半島を一周して大阪と名古屋を結ぶ幹線道路として沿線地域の産業・経済・文化の発展、広域的な連携による地域の自立の促進並びに活力ある地域社会の形成に欠くことのできない根幹的な基盤施設である。</p>					
事業の目的、必要性	<p>西牟婁郡白浜町～西牟婁郡すさみ町間は、並行する一般国道42号とのダブルネットワークによる道路交通の信頼性向上、和歌山市と新宮市間の旅行時間の短縮、一般国道42号の混雑緩和・地域環境改善及び沿道地域の地域活性化に寄与する重要な区間であり、社会経済活動の発展を大きく促進するものである。</p>					
全体事業費	1,323億円			計画交通量	4,300～10,500台/日	
費用対効果 分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年		
	1.7	784億円 事業費：756億円 維持管理費：28億円	1,362億円 走行時間短縮便益：1,259億円 走行費用減少便益：71億円 交通事故減少便益：32億円	平成15年		
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・指標3（高次医療機関までの搬送時間が短縮される） ・指標6（主要観光地へのアクセスが向上する） ・指標13（緊急輸送道路の代替路として、現況の迂回路より短縮が図られる） <p style="text-align: right;">他10項目に該当</p>					
関係する地方公共団体等の意見	<p>東南海・南海地震時や台風等異常気象時の国道42号に代わる緊急輸送路・代替路として早期整備が必要であり、熊野地方への観光利便性向上、白浜以南の半島地域の経済活性化、広域医療体制確立のためにも必要不可欠である。県が既に用地先行取得を行い着手準備も十分に整っている。（和歌山県）</p>					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。